



東京土建のホームページ <http://www.tokyo-doken.or.jp/>

東京都新宿区北新宿1-8-16
東京土建一般労働組合
電話03 (5332) 3971 (代表)
FAX03 (5332) 3972
発行人・編集人
三木 勉

印刷部数11万1800部
(購読料は組合費のなかに含まれています)
(年間購読料 千八百円)
定価 五十円

5・3憲法集会へ参加しよう
安倍政権のもとでの9条改憲発議を許さず、日本国憲法を守り生かしましょう。「日時と場所」5月3日(金・祝)12時からプレコンサートを開始・有明防災公園(ゆりかもめ「有明駅」徒歩2分)。



情勢を説明する全建総連勝野書記長

訪問行動と対話を最重点に

仕事と暮らしを守る春の拡大月間

三鷹武蔵野

自転車と歩きと2組で見事なチームワークの連雀

春の拡大月間は第2次行動(4月17・18日)を終了し、4月23日現在で拡大数1599人、拡大率1・39%の到達です。現場での声掛け、組合内外の事業所訪問など昼夜を

問わず全都奮闘が続いています。GWを挟んで第3次、第4次行動が取り組まれます。大勢の仲間が訪問対話行動を最重点に運動を広げていきます。



左から池川書記、今出川分会長、仁平さん、麻生嶋さん

春の拡大月間行動2日目となる4月16日、三鷹武蔵野支部は独自目標119人(本部目標92人)に対して前日までの成果は25人。まだ始まったばかりですが、まずまずの滑り出します。

2日目の14日には、三鷹市公会堂さん館に68人の仲間が集まり、「春の拡大活動者会議」を開催。各分会から実増に向けた積極的な決意表明がされたところです。

この日の夜も、支部には地元連雀分会の仲間10人と、まだ入局1カ月の新人書記・池川さんが集まり、訪問行動へ。上連雀分会と下連雀分会

が昨年合併してできた連雀分会は、現在213人。目標12人に対して、前日の行動では4人の成果がありました。

「3つの企業群からそれぞれ1人ずつ加入があり、あと1人も仲間の紹介で」と教えてくれた分会長の今出川さん。合併についても、「もともと良好な関係だったので、そんなに大変ではなかった」と話してくれました。

この日も自転車組と歩行組の2組に分かれ、自転車組が先行して、訪問先が在宅しているかを歩行組に伝えるなど、見事なチームワークで資料請求のあった未加入者も含

めて5件を訪問。板金業を営む仲間の仁平さん宅では、家に上げていただき温かいお茶を飲みました。



左から佐々木書記、貫太君、近藤さん、濱崎常任

中野 仲間と直に対話を えごたは新入学祝金で

4月17日、第2次拡大統一行動日の2日目、中野支部のえごた分会の常設センターには9人の仲間が集まりました。富田分会長が「今日は、新入学祝金を話の材料にして対話をすすめよう」と行動の指示をします。えごたの地域内、地域外に分けた名簿を見

るを求め、若年技能労働者が入職しやすい建設現場にしよう」と基調報告をしました。長谷部関東地協連絡会賃金対策事務局次長

は要求説明で、「今回、確認書はパートナーシップ協約書へと変えた。賃金の項目も入れた。企業と結論は一致しているが、具体的に実行をせまる各論ではしっかり当事者意識をもって追求しよう」と呼びかけました。

企業交渉 現場の声を集め要求 パートナリシップ締結へ

全建総連関東地方協議会連絡会は4月18・19日(一部企業は別日程)、大手建設・住宅企業交渉を取り組みました。両日とも午前中は日本教育会館で決起集会を開催。18日には10県連組合357人が参加しました。全体でゼネコン23社、サブコン3社、住宅企業8社の計34社との交渉となります。

全建総連本部から情勢を説明する全建総連勝野書記長

勝野書記長があいさつに立ち、4月から実施された働き方改革や建設キャリアアップシステムの本運用にあたりし

つかり取り組むことを強調。建設キャリアアップシステムが進まないのは建設産業での待遇の悪さがあるからだと言

年連続で引き上がったが、一向に賃上げが実現されない現状を踏まえて請求要求運動を進ませ、生産性向上論にすり替えさせずに労働条件改善

改元を受け、法務省は婚姻届などに新元号を使うように全国の法務局へ通達した。西暦で記入された場合は、そのまま受理したうえで訂正するそうだ。個人としては元号で統一するか、西暦だけ通すのか、それは各人の自由であり、強制されるものではない。

元号使用では、歴としての連続性の欠如、元号がまたがるべき年数計算での錯誤の可能性、改元でのITを始めとした機器対応のコスト増など、デメリットも指摘されているが、もともと元号は古代中国で皇帝が時間を支配することを目的として作られたもので、君主の時間に民衆を従わせるための非民主的な制度だという指摘もある。元号がそれぞれの時代の特徴を表しているという意見もあるが、天皇の在位期間で機械的に括られた「時代」が、歴史学で扱う「時代区分」を表していないことは科学的にみれば明らかだ。

元号は40年前に「元号法」で法制化されたが、元号を制定する目的は示されていない。それはどうしてなのだろう。私たちにどうして元号とどのような意味を持つのか、あらためて考えてみたい。

訂正とお詫び。前号の朝やけで、世界貿易機関の略称をWHOと記しましたが、正しくはWTOでした。申し訳ありませんでした。

訂正とお詫び。前号の朝やけで、世界貿易機関の略称をWHOと記しましたが、正しくはWTOでした。申し訳ありませんでした。